

# 平成30年度 富山県衛生研究所 研究成果発表会プログラム

日時：平成30年11月9日(金) 15:00~17:00

場所：サンシップとやま 福祉ホール

(富山市安住町5-21)

## 1. 開会・衛生研究所の概要 (15:00~15:15)

## 2. 基調講演 (15:15~15:45)

### 衛生研究所における感染症の検査と調査研究について

所長 滝澤 剛則

衛生研究所は、試験検査、調査研究、研修指導、公衆衛生情報の収集を主な業務としています。感染症の試験検査では、インフルエンザ、麻しん、胃腸炎など医療機関で採取された検体の病原体検索を行います。さらに、調査研究として詳細な解析を加えることがあります。今回は、検査と調査研究とのつながりについて、感染症の事例をあげて紹介します。

## 3. 研究成果発表 (15:45~17:00)

### ① 富山県における新生児マススクリーニングの成果と精度保証体制について

がん研究部 主任研究員 西永 真理

新生児マススクリーニングの目的は、新生児の血液による検査を行い、先天的な病気を早期に発見して、適切な治療を行うことにより、生涯にわたって障害の発生を予防することです。この検査では、検査時の精度管理だけでなく、その前後も含めた総合的な精度保証体制が重要です。今回は、これまでの成果を報告するとともに、本県の精度保証体制について紹介します。

### ② 飲用されている『とやまの名水』の調査について (理化学検査を中心として)

化学部 主任研究員 中山 恵理子

富山県内の飲用されている「とやまの名水」は、県が策定した『「とやまの名水」衛生管理マニュアル』に基づき、管理者・市町村・県の3者の協力により衛生管理がなされています。このうち当所では、平成15年度より名水の保全や衛生管理・飲用対策の基礎資料となる水質調査を継続して実施しています。今回は理化学検査の調査概略について紹介します。

### ③ イタイイタイ病に関わる富山県衛生研究所の調査研究について

環境保健部 部長 上野 美穂

イタイイタイ病は1968年に全国初の公害病に認定され、今年(2018年)50年の節目を迎えました。衛生研究所では、昭和40年代から継続して神通川流域カドミウム汚染地域の住民健康調査の尿・血液検査を行ってきました。今回は、過去の年報からイタイイタイ病に関わる衛生研究所の調査研究をふりかえり、現在の取り組みについても紹介します。